

# 2014 春闘速報

石狩地域 2014 春季生活闘争闘争委員会  
2014年7月18日発 第29号発行責任者 平野博宣 TEL011-210-0505 Fax011-210-0

第11回 賃金集計 **5461円2.16%** 加重平均

**参加組合230組合 (未加盟4組合) 妥結148組合 集計対象94組合**  
**連合本部15年ぶり高水準 5928円 2.07% +1062円 0.36P**

全石狩地域闘争委員会は7月18日第11回賃金集計を行いました。本日までの参加組合は未加盟4組合・全自交妥結14組合・交通労連ハイ・タク部会を含め230組合となりました。妥結組合は148組合が確認できており賃金集計公表可能組合は94組合となっています。妥結金額は加重平均で5461円・2.16%に達しました。前回集計からは135円ダウンしたものの対前年比で641円・0.27P上回る状況です。連合本部では17日2014春闘の最終集計を発表しました。妥結総組合は5861組合となりそのうち2386組合がベアを

獲得したとしました。平均賃上げ額は5,928円(2.07%)となり、前年を1062円0.36P上回っています。連合本では15年ぶりの高水準と評価し、デフレ脱却の第一歩としています。石狩地域の賃上げも例年以上の成果を挙げています。私たちの取り組みはこれから後半千です。最後まで頑張りましょう！春闘交渉状況の報告をお願いします。

### 【7月18日第11回賃上げ集計】

参加22産別 230組合 (未加盟4組合)	妥結 組合	回答妥結		昨年妥結	
		額	率	額	率
妥結加重平均	94	5461	2.16	4814	1.89

## 労働法制改悪 政財界虎視眈々 気を抜いてはいけない

安倍首相は6月に閣議決定した新成長戦略推進に向け強烈的なPR活動に励んでおり、雇用規制改革・労働法制改悪に強い姿勢を示しています。特に力を入れているのが「残業代ゼロ制度・ホワイトカラー・イグゼンプション」の導入です。働いた時間ではなく成果で賃金を支払うという仕組みで、当面は年収1千万円以上の労働者を対象とするとしています。しかし、財界はトップ自らが「幅広い職種・労働者が対象になるよう発信していく」と「残業代ゼロ制度」実現に向け決意を表しています。更に、財界はこの制度により、「労働者によってはむしろ働きやすくなり、労働生産性も高まる」とPRしています。私たちは気を抜いてはいけません。労働法制改悪・残業代ゼロ法案を断固阻止しましょう。



しかもその対象を給料や仕事の内容を問わず、一般社員にまで広く拡大することも検討されています!

断固反対!

	今のルール	ホワイトカラー・イグゼンプション
働く時間のルール	1日8時間 1週間40時間	<b>なし!</b>
残業した場合	残業代(25%以上の割増賃金)がもらえる	<b>なし!</b>
深夜10時から翌朝5時に働いた場合	深夜手当(25%以上の割増賃金)がもらえる	<b>なし!</b>